

評価対象事業		評価者	環境保全課長 牧野 直樹	
環境-17	動物愛護推進事業	☒ 自治事務	主管課	環境保全課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-②快適な生活環境の保全

1 事業の目的

対象	犬・猫を所有する市民等
意図	狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。
効果	狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

・犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。 ・鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。 ・狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。 ・犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。 ・猫の不妊去勢手術を奨励し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。 ・飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。 ・犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。	
---	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	犬の登録、注射済票交付事務	犬の登録、狂犬病予防注射促進協力等委託、消耗品費等	狂犬病予防注射接種率(%)	75 / 100	100	100	75.0%
				1,147 / 1,433	1,433	2,712	
02	猫の不妊去勢手術費補助事業	飼い猫・飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術費補助金等	不妊去勢手術費補助件数(件)	191 / 356	356	356	53.7%
				726 / 1,353	1,353	1,359	
03	マイクロチップ装着費補助事業	マイクロチップ装着事業補助金	マイクロチップ装着費補助件数(件)	39 / 100	100	100	39.0%
				57 / 150	150	150	
04	湘南獣医師会補助金交付事務	湘南獣医師会補助金	—	— / —	—	—	
				150 / 150	150	150	
05	マナー向上啓発事業	マナー啓発プレート消耗品費	動物愛護のつどい参加人数(人)	250 / 300	300	250	83.3%
				99 / 105	105	333	
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	2,179 / 3,191	3,191	4,704	
			一般財源	/			
		事業費の合計(千円)		2,179 / 3,191	3,191	4,704	
		人件費(千円)			15,714	16,610	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
会計年度任用職員	8.0	3.0	3.0	3.0	3.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	犬の登録、注射済票交付事務	狂犬病予防注射の接種率は前年度(令和4年度)より向上した。しかし、獣医師の診断で予防注射を猶予された犬が、登録数の1割超と他市を大きく上回っていた。	動物病院とも連携し、犬の登録や狂犬病予防注射の接種を促進することにより、狂犬病のまん延を防ぎ、快適な生活環境の保全に寄与した。	接種率のさらなる向上に向けて、未接種犬への接種勧奨通知の送付や広報紙への記事掲載等、あらゆる機会を捉えて予防注射の重要性や法定義務についての周知啓発を徹底する。
02	猫の不妊去勢手術費補助事業	目標値の6割弱の補助となった。原因として、動物愛護意識が高まり保護猫を譲受するケースが増えていることが考えられる。(保護猫は多くの場合、譲渡時点で不妊去勢済)	不妊去勢手術を促進することで飼い主のいない猫の増加を防ぎ、猫による生活環境への被害を低減し、快適な生活環境の保全に寄与した。	室内飼育の推奨に力を入れるなど、マナーの向上啓発と関連付けて事業を実施する必要がある。
03	マイクロチップ装着費補助事業	目標の約5割の補助にとどまった。原因として、犬猫の販売業者にマイクロチップ装着が義務化されたことが考えられるが、現状では努力義務に留まっているその他の犬猫への装着を推進するため、引き続き当該補助金の活用を促しマイクロチップ装着率の向上を目指す。	マイクロチップの装着を促進することにより、逸走した動物が飼い主に返還され、野良犬・野良猫等の発生を抑制し、快適な生活環境の保全に寄与した。	引き続き当該補助金の活用について、獣医師の協力のもと一層の周知を図るとともに、マイクロチップ装着の有用性について、周知啓発に努める。
04	湘南獣医師会補助金交付事務	本事務は、公衆衛生の維持・動物愛護精神の啓発を行う湘南獣医師会の事業を助成する事務であり、目標設定に馴染まないため、指標を設定しない。	湘南獣医師会は、狂犬病予防注射や日常の診療を通じ、公衆衛生の維持・動物愛護精神の啓発に努め、快適な生活環境の保全に寄与した。	狂犬病のまん延予防や動物愛護精神の啓発を促進するためには、湘南獣医師会との日常業務での関わりを通じ、継続的に事業目的を共有していく必要がある。
05	マナー向上啓発事業	「動物愛護のつどい」を、初めて鎌倉生涯学習センターホールで実施し、参加者は会場定員に達した。	鎌倉保健福祉事務所とも連携し、ペットの苦情相談対応を行うとともに、ペットの飼育者に適正飼育を促すことにより、快適な生活環境の保全に寄与した。	ペットの飼育マナーを広く浸透させるためには、神奈川県や関係団体等と連携し、地道な取組を継続する必要がある。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 神奈川県獣医師会、湘南獣医師会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
近年、犬や猫は伴侶動物と呼ばれ、家族の一員として迎えらる犬や猫がいる一方、犬や猫を飼育すること
起因する生活トラブルが発生している。飼育者が犬や猫を適正に飼育することにより、市内の快適な生活環境
の保全が促進されるため、犬の登録、狂犬病予防注射の接種、法令に基づく適正な飼育方法や飼育マナーに
ついて、市民への継続的な周知・啓発に取り組む必要がある。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	登録されている犬の狂犬病予防注射接種率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
登録されている犬の狂犬病予防注 射接種率の向上を目指す各施策の 効果を測るため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値	71.9	72.7	74.1	75.0			
	達成率	71.9%	72.7%	74.1%	75.0%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	令和5年度 狂犬病予防注射接種率							
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	横須賀市				
他市実績	75.02	76.36%	75.78%	80.77%				

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	鎌倉市を含む神奈川県下28市町村が参加する神奈川県狂犬病予防推進協議会等を通じ、狂犬病予防注射接種 率を向上するための効果的な取組について情報共有を図る。
--------------------------	--